

第26回KCJトップバンドコンテストルール

- <主催> 全国CW同好会 (KCJ)
<日時> 2010年2月13日(土) 21:00JST~2月14日(日) 21:00JST (時報)
<参加資格> アマチュア局及びSWL、ただし、特別記念局、特別局(8N, 8J, 8Mで始まる局)は、エントリーされてもチェックログとして扱います
<部門> シングルオペ部門(注1)、マルチオペ部門(注2)、SWL部門
注1: コンテストに関するすべての操作を一人で行うこと。
注2: 個人局のゲスト運用はマルチオペ部門とする。
<周波数> 1.9MHz帯; 1810~1820kHzと1908~1912kHzを推奨周波数帯とするが、国外局との交信時は1820~1825kHzを使用できる
<電波型式> CW
<交換NR> 国内局: RST+運用場所の都府県支庁名略称(表参照)、国外局: RST+大陸名略称(表参照)
注意: 運用場所が常置場所と異なる場合はJA8AJE/1とポータブル表示を付加すること
<得点> 国内局: 国内局との交信1点・国外局との交信5点。国外局: 国内局との交信1点・それ以外は0点
<マルチ> 国内局: 異なる都府県支庁・大陸の数、国外局: 異なる都府県支庁の数
<総得点> 得点×マルチ
<提出書類> 交信データを記載したログおよびサマリーシート。日本国内で運用した局は交信相手局の場所によらず交信時刻をすべてJSTで、また日本国外で運用した局はすべてUTCで記入。サマリーシートには参加部門、連絡先、氏名、およびマルチ×得点を計算して得た総得点を記載する。重複チェックシートは不要。マルチオペの場合は、コンテスト中に運用した者のコールサインあるいは姓名、無線従事者資格をサマリーシートに明記すること。テキスト形式のe-mail(JARL方式可)による提出も可。詳細はKCJ web site(下記URL)で確認のこと。SWLはログ記載局の交信相手局コールも記載のこと
<ログ照合> 提出されたログを相互に照合し一致している場合のみ得点とマルチを認める。相手局のログが提出されていない時は得点にならない
<表彰> 国内局: 各部門の上位5%でかつ5位以内の全国入賞局、および各部門の上位50%以内でかつ各マルチエリア1位のエリア入賞局
国外局: 総得点10点以上でDXCCエンティティ1位の局
<副賞> 総得点1位局に授与する。但し過去5年以内に副賞授与済みの場合は次点局とする
<禁止事項> ①2波以上の同時発射、②マルチオペの複数地点からの運用、③マルチエリアの境界を越えての移動運用
<失格> 電波法、運用規則およびKCJコンテストルールに違反し、または秩序を著しく乱したと大会が判断した場合
<締切> 2010年3月14日(日) (消印有効)
<提出先> 郵送: 〒289-1212 山武市木原 1420-55 難波正義(JA1FCY)
email: kcj-log(a)kcj-cw.com ((a)は@に置き換える)、または下記URL内から
<その他> e-mailでのログ提出局には結果を記載した電子メール会報を送る。提出するログに切手180円分を同封した局には結果を記載した会報を送る
<質問> ja8aje(a)jarl.com ((a)は@に置き換える) 笠原へ
<公式サイト> <http://www.kcj-cw.com/>

【表】KCJコンテスト・都府県支庁略称および大陸名略称

宗谷	SY	留萌	RM	上川	KK	網走	AB	空知	SC	石狩	IS	根室	NM	後志	SB
十勝	TC	釧路	KR	日高	HD	胆振	IR	桧山	HY	渡島	OM				
青森	AM	岩手	IT	秋田	AT	山形	YM	宮城	MG	福島	FS				
新潟	NI	長野	NN												
東京	TK	神奈川	KN	千葉	CB	埼玉	ST	茨城	IB	栃木	TG	群馬	GM	山梨	YN
静岡	SO	岐阜	GF	愛知	AC	三重	ME								
京都	KT	滋賀	SI	奈良	NR	大阪	OS	和歌山	WK	兵庫	HG				
富山	TY	福井	FI	石川	IK										
岡山	OY	島根	SN	山口	YG	鳥取	TT	広島	HS						
香川	KA	徳島	TS	愛媛	EH	高知	KC								
福岡	FO	佐賀	SG	長崎	NS	熊本	KM	大分	OT	宮崎	MZ	鹿児島	KG	沖縄	ON
小笠原	OG	南鳥島	MT												
アジア	AS	オセアニア	OC	ヨーロッパ	EU	北米	NA	南米	SA	アフリカ	AF				